

まるで一冊の雑誌を読むような展覧会



『アンアン』『ポパイ』のデザイン 新谷雅弘の仕事



『アンアン』1971年12月20日号(43号)pp.92-93「ガイド ショッピング」 レイアウト:新谷雅弘 イラストレーション:原田治 写真:えづら俊

—だから、ボクは
雑誌をつくりたい

『アンアン』の時代

『アンアン』は、フランスの女性誌『エル』と提携し、1970年大阪万博の年に刊行されました。日本初のL判サイズ、オールグラビア印刷で、日本の女性グラビア誌のひな型になったともされます。アートディレクター・堀内誠一(1932-1987)を中心に気鋭のメンバーが集結し、斬新なヴィジュアルによる革新的な雑誌として誕生しました。

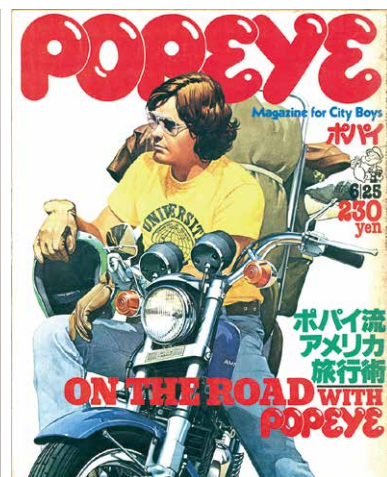
現在島根県隠岐郡海士町に在住する新谷雅弘(1943-)は、大阪市生まれ、生後すぐ戦火を避けて父母の出身地である海士郡海士村(現・隠岐郡海士町)に疎開し、10歳まで過ごしました。大阪に戻り、その後多摩美術大学デザイン科を卒業、東京で広告代理店アド・センタールに就職します。同社の創立メンバーであった堀内との出会から、アシスタントとして創刊号よりコラムページのレイアウトなどを担当し経験を重ねていきます。その後堀内は生活の拠点をパリに移すため、通号49号をもって『アンアン』を去りますが、新谷は通号158号(1976年)まで同誌の仕事が続けます。新谷にとり『アンアン』は修行の場であり試行の場となりました。

『ポパイ』の時代

その後新谷は、1976年に創刊され、アメリカの現代的ライフスタイルを新しい切り口で紹介し、若者文化に大きな影響を与える『ポパイ』のアートディレクターとなります。『雑誌のデザインは編集部を描いた絵』雑誌のレイアウトに課せられているのは人間くさい部分の表現」といった独自のデザイン哲学のもと、レイアウトが原稿執筆に先行する「先割」と呼ばれる手法により新谷流スタイルを確立し、編集者が集める大量の記事の素材をデザインチームでカタログ的に構成するデザインで、後続誌の流れを形づくったとされます。



山崎正夫『ポパイ』1978年6月25日号(33号)
表紙原画) 1978年 個人蔵



『ポパイ』1978年6月25日号(33号)表紙
タイトルデザイン:堀内誠一 カバーデザイン:新谷雅弘
イラストレーション:山崎正夫



矢田清四郎《五月の出雲路》1975(昭和50)年

展示室 1 西洋絵画 洋画

第1期 色と形の思索家たち

5月29日[水]－9月23日[月・振休]

Shimane Art Museum Collection
コレクション展

観覧料

一般 300円
大学生 200円
高校生以下 無料

○ミュージアムパスポートを
ご使用いただけます。
○企画展と同日に観覧の
場合は半額

世界はどんな色と形で
できているのか

人物画であれ静物画であれ風景画であれ、絵画は「色」と「形」でできています。考えてみれば当たり前のことかもしれませんが、普段意識して色彩や形態という要素に分けて絵を見ることは少ないのではないのでしょうか。

しかし画家たちは、自分が見た世界を（あるいは心の中など目に見えない世界さえも）どんな色彩を用いていかなる形で描くかといったことに腐心しているようです。たとえばここに掲げる矢田清四郎の絵には、「築地松」と呼ばれる防風林が特徴的な出雲地方の散居景観があらわされていますが、ここでは実際の景色を見たままに描いたというよりも、築地松の矩形がリズムカルに繰り返されていたり、水田の反映や苗代など青や緑が基調色となるよう強調されていたりするのを見ると、画家がこの風景から受け取った印象（彼自身は「近代的な美」と述べています）を幾何学的な形態と鮮やかな色彩で捉え直そうとしたもののように思えます。色と形に注目すると、いつもとは違った角度から画家の思いが感じられるかもしれませんね。

（専門学芸員 柳原一徳）



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》(永田コレクション)天保初期(1830～34)頃

展示室 2 北斎

北斎コレクション 第3期

7月3日[水]－8月5日[月]

新紙幣発行記念！

北斎描く富士と波

巨大な波が飛沫をあげながら立ち上がり、大きな押送船も操舵不能の様子。近景では曲線で躍動する波を描き、遠景では水平のぼかしを背景に敷いて泰然とした富士の姿を浮かび上がらせています。曲線と水平、近と遠、動と静の劇的な対比が本作品のみどころといえるでしょう。この北斎描く《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》（以下「浪裏」）は、日本美術を代表する作品として国際的に広く知られ、2024年7月3日より発行される新1000円札のデザインに採用されました。

これを記念して同じ7月3日より、北斎が生涯を通じて描いた多くの富士の姿、波や水の表現を特集展示します。「浪裏」を含む《富嶽三十六景》はもちろんのこと、北斎が描いた最初期の富士図《東都方角卯之方三市堂之図》、「浪裏」の大幅表現の原型とされる『柳の絲』、北斎富士図の集大成『富嶽百景』全巻などを一堂に展示します。北斎が「浪裏」の表現に到達するまでの軌跡をどうぞご堪能ください。

（専門学芸員 大森拓土）

展示室 1 水辺の展示室

第2期

6月12日〔水〕－7月29日〔月〕

第3期

7月31日〔水〕－9月2日〔月〕

当館の所蔵する「水を画題とする絵画」の名品を展示します。近世絵画・日本画は今年度、9期の展示、西洋絵画・洋画は通期展示（一部展示替えあり）の予定です。

第4期

9月4日〔水〕－11月4日〔月・振休〕

展示室 1 西洋絵画 洋画

第1期 色と形の思索家たち

5月29日〔水〕－9月23日〔月・振休〕



ラウル・デュフィ《ニースの窓辺》1928年

第2期 生誕200年 ピュヴィス・ド・シャヴァンヌとその時代

9月25日〔水〕－2025年1月13日〔月・祝〕

フランスを代表する壁画家ピュヴィス・ド・シャヴァンヌは、今年生誕200年を迎えます。日本近代洋画の礎を築いた黒田清輝にも大きな影響を与えたこの画家の作品を、同時代のフランスの絵画とともに紹介します。



ピエール・ピュヴィス・ド・シャヴァンヌ《休息》1861年

展示室 3 工芸

出雲の工芸

5月22日〔水〕－7月8日〔月〕

明治以降の出雲焼

7月10日〔水〕－11月18日〔月〕

出雲焼と呼ばれる布志名焼と楽山焼。明治以降に制作された出雲焼の黄釉日用陶器や輸出陶器などをご紹介します。



《布志名焼 色絵桜花双雄図花瓶》明治時代

展示室 4 写真

杉本博司

4月18日〔木〕－7月15日〔月・祝〕

モダン・フォトグラフィ

7月18日〔木〕－10月14日〔月・祝〕

1920年代から1930年代にかけて、ライカに代表される高性能の小型カメラの登場により、写真表現の可能性は飛躍的に高まりました。フランス・ドイツ・ロシアで展開した写真による新たな視覚をご紹介します。



アレクサンドル・ミハイロヴィチ・ロトチェンコ(1891-1956)《トランペットをもつピオネール》1930年
ゼラチン・シルヴァー・プリント

展示室 1 近世絵画 日本画

第2期

6月12日〔水〕－7月29日〔月〕

第3期

7月31日〔水〕－9月2日〔月〕

当館が所蔵する江戸時代の近世絵画、近代以降の日本画より、特に当館が誇る優品、島根県出身や来遊画家の作品など、島根ゆかりの美術を紹介します。

第4期 大雲と朗風

9月4日〔水〕－11月4日〔月・振休〕



伊藤若冲《鶏図》寛政元(1789)年頃

展示室 2 北斎

北斎コレクション第3期

7月3日〔水〕－8月5日〔月〕

北斎コレクション 第4期

8月7日〔水〕－9月9日〔月〕

コレクション展示室2（「北斎展示室」）では、当館が誇る北斎コレクション・約1,600件の中から、北斎の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約40点をいつでもご覧いただけます。



葛飾北斎《富嶽三十六景 山下白雨》(永田コレクション) 天保初期(1830～34)頃〔第4期展示〕

北斎コレクション第5期

9月11日〔水〕－10月14日〔月・祝〕



小谷充「『もじのデザイン』のためのビジュアル・イメージ」© Mitsuru Kotani

夏の自由研究 －もじのデザイン

6月6日〔木〕－9月9日〔月〕

「夏の自由研究」は、美術にまつわるさまざまなテーマをご紹介します。今年は「文字」に着目し、その美術的な表現力について考えます。

展示室 5 企画展

落合朗風 第2会場 落合朗風と目指した世界

9月20日〔金〕－11月4日〔月・振休〕

落合朗風

明朗美術連盟と目指した世界

落合朗風（ろうがふう）は、大正から昭和初期にかけて活躍した日本画家。昭和9（1934）年には明朗美術連盟を創設し、「日本画」の既成概念に一石を投じる先駆的作品を次々に発表していきました。

しかしながら、昭和12（1937）年4月15日に40歳という若さで急逝してしまったこともあり、彼と連盟の評価は現在も未だ定まっていません。

本展は、55年振りに開催する落合朗風の大規模回顧展——落合朗風とゆかりの深い島根の地において、彼の画業を改めて振り返るとともに、明朗美術連盟を通して朗風とその仲間たちがどのような「日本画」の未来を夢みていたのか考えます。



落合朗風《紅蓮白蓮図》昭和7(1932)年、個人蔵



落合朗風《若日の大国王命》昭和7(1932)年、個人蔵

2024年

9月20日〔金〕→11月4日〔月振休〕

開館時間 [9月]10:00～日没後30分 [10-11月]10:00～18:30
(展示室への入場は閉館30分前まで)

休館日 火曜日

オープニングセレモニー
ご招待

参加無料 要事前申込

抽選で30名様を企画展「落合朗風 明朗美術連盟と目指した世界」のオープニングセレモニーにご招待いたします。また当日抽選でテーブルカットにご参加いただけます。

日時 9月20日(金)9時40分～
(受付9時15分/約20分)

会場 ロビー

特典 記念品(代表者のみ進呈)

申込方法

ハガキまたはFAXに必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

①お名前(ふりがな)②郵便番号・住所③電話番号 以上必須事項 ④FAX番号⑤同伴者のお名前(ふりがな)1名まで可

申込先

〔ハガキ〕〒690-0049 松江市袖師町1-5
島根県立美術館
「落合朗風」展
オープニングセレモニーご招待係
〔FAX〕0852-55-4714

申込締切 9月2日(月)当日消印有効

○申込多数の場合は抽選となります。
○お客様の個人情報は、招待状の発送(郵送)以外には利用いたしません。
○当選者の発表は招待状の発送(2024年9月6日頃)をもってかえさせていただきます。(電話などでの個別のお問合せはできません。)

関連企画

オープニングセレモニー

参加無料

要事前申込

日時 9月20日(金)9時40分(受付9時15分/約20分)
会場 ロビー
特典 記念品(代表者のみ進呈)
▼申込方法は左記をご覧ください。

▼申込方法は左記をご覧ください。

オープニングギャラリートーク

要企画展観覧料

日時 9月20日(金)10時頃
会場 企画展示室

記念講演会

聴講無料

「落合朗風と昭和初期新日本画運動」

講師 菊屋吉生氏(山口大学名誉教授)

日時 10月13日(日)14時(30分前開場/約90分)

会場 ホール(190席当日先着順)

連続美術講座

聴講無料

①「落合朗風が夢見た世界」

②「明朗美術連盟と目指した世界」

講師 五味俊晶(当館主任学芸員)

日時 ①10月12日(土)②10月27日(日)

各日14時(30分前開場/約90分)

会場 ①②ともホール(190席当日先着順)

ギャラリートーク

要企画展観覧料

担当学芸員による展示解説

日時 9月29日(日)、11月3日(日)祝 各日14時(約60分)
会場 企画展示室

第2会場

落合朗風と
目指した世界

日時 9月20日(金)

11月4日(月振休)

会場 展示室5

島根県立美術館×平田本陣記念館
松江×平田スタンプラリー

要企画展観覧料

本展と平田本陣記念館「朗風と大雲展」(9月20日(金)～11月10日(日))の両方の展覧会をご覧の先着2,000名様にオリジナルポストカードをプレゼント。(全4種)

※プレゼントがなくなり次第終了 ※おひとり様1枚

Event イベント情報

●『アンアン』『ポパイ』のデザイン展関連

〈美術館キネマ〉鑑賞無料 「2001年宇宙の旅」

(1968年/アメリカ/148分/DVD上映)

日時 7月14日(日)

①10:00～②14:00～

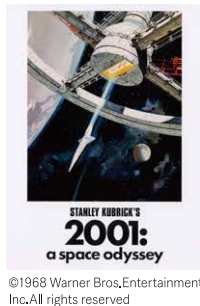
(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

監督・製作 スタンリー・キューブリック

科学者ら5人を乗せて木星へと向かう探査船ディスカバリー号で、コンピュータのHALが反乱を起こす。その闘いをかろうじて生き残ったボウマン船長が謎の黒石版モノリスによって異次元のトリップに巻き込まれるSFアドベンチャー。

『ポパイ』1978年4月25日号(29号)にて、「2001年宇宙の旅」の特撮を特集しています。



©1968 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved

●「落合朗風」展関連

〈美術館キネマ〉「白い船」

(2001年/日本/108分/DVD上映) 鑑賞無料

日時 9月22日(日)①10:30～②14:00～

(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

監督・製作 錦織良成

出演 中村麻美、濱田岳、中村嘉葎雄、尾美としのり、竜雷太

島根県平田市(現/出雲市)の海ぞいの町。小学校の生徒が教室の窓から、沖に行く白い船を目撃。定期的に同じ航路を進むこの船に、生徒たちの興味は高まる。そんな子どもたちに、担任の教師、静香は船長さん宛の手紙を書くことを提案する、島根県の小学校の実話をもとにしたヒューマン・ドラマ。

錦織監督 舞台挨拶決定!

①回目の上映後、
②回目の上映前に
錦織監督の舞台
挨拶があります。



©白い船製作委員会



©たたら侍製作委員会

「夏休みアート体験2024 文字デザインに挑戦!」 ～○△□で漢字パズルをつくろう～

参加無料 要事前申込

アクリル板に○△□の色紙を貼って漢字パズルをつくります。

日時 A 8月9日(金) 10:15～12:15
B 8月10日(土) 10:15～12:15
C 8月10日(土) 14:00～16:00
D 8月11日(日・祝) 10:15～12:15
E 8月11日(日・祝) 14:00～16:00
(計5回実施/各回約120分)

対象 小学4年生以上

定員 各回12名

会場 美術館アートスタジオ

企画協力 島根大学教育学部美術科教育専攻



「文字デザインに挑戦!～○△□で漢字パズルをつくろう～」※イメージ



文字デザイン「祭」

文字デザイン「海」

夏休みアート体験申込方法

件名にイベント名「夏休みアート体験」を明記の上、①氏名(ふりがな)・年齢、②住所、③電話番号、④希望回(第2希望まで可)を書き、下記アドレスへお申し込みください。

申込先 sam@pref.shimane.lg.jp

申込締切 7月30日(火)

※お申込多数の場合は抽選となります。

参加通知 締切後3日以内に返信をお送りします。

※@pref.shimane.lg.jpを受信できるよう設定してください。※定員に満たない場合は、締切日以降でもお申込みを受け付ける場合がございます。※お客様の個人情報は、当ワークショップの運営以外には利用いたしません。

●「落合朗風」展関連



山陰フィルジュニアオーケストラ SUNSET ロビーコンサート

鑑賞無料

宍道湖に沈みゆく夕日を背景に山陰フィルジュニアオーケストラの皆様の瑞々しい音色がロビーを彩ります。

日時 10月6日(日)16:00～(45分間)

会場 ロビー

出演 山陰フィルジュニアオーケストラ

※座席数に限りがある為、立見での鑑賞になる場合がございます。予めご了承ください。

プロフィール/1988年創立。小学生から大学生までのメンバーが在籍しています。これまでに35回の定期演奏会をはじめ、プラバ・イルミネーションやカラコロ工房、県立美術館等、様々なイベントでのアンサンブルコンサートを行っています。オーケストラの楽しさを体験するとともに、クラシック音楽を通じて心豊かな日々を送ることを活動の目的としています。

子どもといっしょの鑑賞優先時間 かぞくの時間



毎日午前中
「かぞくの時間」
(10:00～12:00)



「絵本とおでかけ 展示室」

絵本のお話を聞いて、お話をヒントに作品鑑賞のお散歩に出かけます。

日時 7月・8月・9月 第3木曜日(7月18日、8月15日、9月19日)
各日10:30～(約40分)

会場 キッズライブラリー、コレクション展示室

集合 キッズライブラリー(先着20名程度)

料金 コレクション展観覧料 一般300円、大学生200円、小中高生無料

※こころカード(アプリ)提示でお子様と来館の方4名までコレクション展観覧無料

子どもたちにとって美術の楽しさ、芸術の喜びを分かちあえる場所となるよう、毎日午前中「かぞくの時間」を実施します。美術館でゆたかなひとときをお過ごしください。

Gallery

ギャラリー展示のご案内

会 期	展 覧 会 名	内 容	問合せ先
7月 3日(水)－ 7月 8日(月)	空想の森 さんかく美術館絵画教室展覧会	1室 想像と創作をモットーに大人から子どもまで個性光る生徒と講師による絵画・版画・立体作品の展覧会。	足立 090-4895-7152
7月 3日(水)－ 7月 8日(月)	佛絵師 荒木 Juro 香珠 展 〜オーセンティックな美の世界へ	2室 山陰で活動する佛絵師 荒木Juro香珠が描く仏画作品を一堂に集めて展示する。	柳田 090-8240-5479
7月10日(水)－ 7月15日(月)	90回記念 東光展巡回島根展	全室 令和6年4月に東京都美術館で開催される90回東光展(油彩、水彩、版画)の全国巡回作品と地元出品作の展示。	北本 0853-22-7187
7月17日(水)－ 7月22日(月)	第63回 島根新協展	1室 島根新協美術会会員による油彩、アクリル、水彩画の作品展。	小山 090-4699-1891
7月24日(水)－ 7月29日(月)	第44回 山陰二紀展	1室 二紀会山陰支部員を中心に絵画、彫刻作品を展示する。	田中 090-4693-9139
7月24日(水)－ 7月29日(月)	出雲織展	2室 着物、着尺、帯の展示。	戸谷 080-5233-0449
7月31日(水)－ 8月 5日(月)	第37回 山陰現展	1室 現展山陰支部会員及び現展本部からの賛助出品による平面、立体の作品展。	松本 090-9504-8157
8月 7日(水)－ 8月12日(月)	鳥取短期大学住居・デザイン専攻学習成果展示会	1室 鳥取短期大学住居・デザイン専攻の学生が授業や課外活動で制作した、建築、インテリア、デザインなどの作品の展示。	清水 080-6333-5204
8月 7日(水)－ 8月12日(月)	松江写真作家協会写真展	2室 松江写真作家協会会員の作品展示。	黒川 0852-23-8059／090-9060-9434
8月14日(水)－ 8月19日(月)	KUNIBIKI'24	1・2室 絵画・彫刻・イラストレーション・写真・その他	渡部 090-8061-8543
8月22日(水)－ 8月26日(月)	第52回 日本の書展松江展	全室 現代書壇を代表する一流書家と山陰両県の書家の作品展示。	山陰中央新報社事業部 0852-32-3415
8月28日(水)－ 9月 2日(月)	第27回 書友墨斎会書展	1・2室 漢字、かな、細字、硬筆、近代詩文書の書作品の展示。	明正(めいしょう) 090-6848-3481
8月28日(水)－ 9月 2日(月)	令和7年度 愛鳥週間用ポスター図案コンクール作品展	3室 小・中・高等学校及び特別支援学校の生徒が描いた野鳥の作品展。	島根県農山漁村振興課 0852-22-5160
9月 6日(金)－ 9月 9日(月)	第52回 松江市民美術展	全室 市民または市内通勤・通学者及び市内の文化教室受講者を対象とする松江市主催の公募展。	松江市文化振興課 0852-55-5517
9月12日(水)－ 9月16日(日)	第53回 島根独立書展	全室 島根県独立書人団員制作による書道作品の展示。	山本 090-4657-3545(SMS連絡希望)
9月18日(水)－ 9月23日(月)	第53回 松江ちぎり絵サークル展	2室 松江ちぎり絵サークルの会員の作品展。	森山 0852-24-6079
9月25日(水)－ 9月30日(月)	第12回 島根県アンデパンダン展	全室 あらゆる表現様式が対象の無審査、無賞、公募の総合美術展。	山城 0852-25-5941

○開室時間は通常10:00～18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。 ○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。 ○ギャラリーは一般の方に貸し出ししているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。



湖畔のレストラン「RACINE」

\\ レトロ喫茶「ラシヌ」開店 //



「アンアン」「ポパイ」のデザイン展では、1970年代～80年代に流行したファッションやカルチャーなども振り返る事が出来ます。
「ラシヌ」では、展示内容にちなみ、70年代を彷彿とする純喫茶のメニューを再現し、クリームソーダやコーヒーフロート(いずれも¥800税込)などをご用意いたしました。

【期間】～9月2日(月) 【提供時間】11:00～(テイクアウト可)

■営業時間 10:00～18:00(美術館開館時間に準じます) ■レストラン電話 0852-25-6562
※状況により閉店時刻が早まる場合があります。
■ランチ[11:00～15:00] ■ディナー[17:00～]※完全予約制

ミュージアムショップ

Museum Shop

『アンアン』『ポパイ』のデザイン 新谷雅弘の仕事 関連グッズを販売

ミュージアムショップでは「開館25周年記念『アンアン』『ポパイ』のデザイン 新谷雅弘の仕事」開催に合わせて、公式展覧会資料集(1,960円税込)を販売中です。

このほか、展覧会の雰囲気に合わせた昭和レトロなグッズも販売しています。商品をぜひ店頭でご覧ください。

オンラインショップ <https://www.sam-museumshop.shop/>



年間パスポートのご案内

当館主催の企画展、コレクション展を何度でもご覧いただけるほか、下記の6つの特典があります。ご利用の際は、各展示室前受付でパスポートを提示してください。
プレゼントとしても購入いただけます。



※ギャラリー(貸出施設)は主催者が異なるため別料金となります。

【会員特典】

企画展・コレクション展を何度でも
ご鑑賞いただけます。(購入日より1年間)

①企画展観覧料 半額
(同伴者2名様まで)

②ミュージアムショップでの
お買い物が 5%OFF

③「美術館ニュース」や各展覧会のチラシをお届け(年4回)

④提携施設を割引料金でご利用いただけます。

足立美術館、植田正治写真美術館、愛媛県美術館、尾道市立美術館、サントリ美術館、島根県立石見美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、とっとり花回廊、広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、水木しげる記念館、DIC川村記念美術館、山口県立美術館、山口県立秋美美術館・浦上記念館

⑤レストランで
ソフトクリーム200円

⑥来館ポイント5つで
ワンドリンクサービス

年会費 一般3,000円 大学生1,800円 小中高生900円
購入は美術館総合受付(パスポート窓口)までお越しください。

有効期限内に継続購入された場合、無料観覧券を1枚進呈いたします。

最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。



鳥根県立美術館メールマガジンEニュース

配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、美術館ホームページのお問い合わせフォームよりお申込みください。



鳥根県立美術館



〒690-0049 鳥根県松江市袖師町1-5
TEL0852-55-4700 FAX0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>